



発行 土浦平和の会
 事務局 土浦市神立町2 6 6 4 2
 TEL 3 1 9 1 2 2

基地の中りオキナワPARTI沖縄基地調査に参加して 山口雪雄

急な話であったが、5月の米軍用地特別措置法にもとづく借用期限切れを前にして海上ヘリポート予定地や27日の県収用委員会の公開審査が傍聴できるということで、3月25日から28日まで日本平和委員会の沖縄基地調査交流団の一員として、茨城県からは飯村理事長、伊達事務局長らとともに6名で参加した。平日であったが、ANAのジャンボ機は観光客でほぼ満席でした。

沖縄から帰って真っ先に思ったのは、沖縄と本土ではやはり違うなということだった。3月の沖縄は特措法の改悪と海上基地問題が切実緊急なたたかひの課題で、緊迫した情勢下にあった。連日、地方紙の沖縄タイムスと琉球新報は一面トップでそのことを報じていた。本土の一般紙からは温度差がありすぎて、沖縄のこの現実には想像すらできないのではないかと思った。

沖縄県知事公室発行の最新の「沖縄の米軍及び自衛隊基地(統計資料)」によれば、米軍基地関係の総面積は24,306haで、県土面積に占める割合は10.7%である。沖縄本島19.4%、中部25.9%、北部20.4%

で、専用施設は全国の74.9%である。市町村別に見ると、嘉手納基地のある嘉手納町は基地面積が82.8%でトップを占め、金武町が59.7%、北谷町が56.4%などと続いている。きちの米軍人は28,027人で、そのうち海兵隊は17,279人で61.65%を占めている。また、軍属と家族を含めると53,539人(96.9%)となり、米軍施設や家族の住宅などすべて「思いやり予算」でまかなわれている。基地の中のおきなわの現実、日本国憲法が機能せず、米軍占領下の沖縄にタイムスリップしたような錯覚すら覚える。

26日、小雨のちらつく中を20人余が、2隻の船で海上基地建設予定地を実地調査。水深15M キャンプシュワブ沖に出て幅500M、長さ1,500Mの距離に船を配置し、その大きさを実感する。風のため海上は大きく波立ち、小さな船は木の葉のように上下動し、1,500M先の船は点のように小さく見えた。大きさは首里城の約15倍で、こんなところに海上基地が技術的にも果たしてできるのかと疑問に思った。

26日の沖縄タイムスは、53市町村長に特措法改正について緊急アンケートを行い、37首長が「収用委員会の審理中に改正するのは、法治国家の自殺行為で沖縄に基地を固定化するもので法改正に反対」であることを一面トップに報じた。この日、県収用委の公開審査は千名の傍聴者で埋められ、契約を拒否する反戦地主と弁護士が国の対応を厳しく糾弾したのが強く印象に残った。

土浦平和の会総会
に参加しましょう
 と き 4月20日13時から
 と ころ 1中地区公民館視聴覚室

憲法記念集会
 憲法50年を記念して市民の意見を条め連帯を強めるよい機会です。
 誘い合って参加しましょう
 と き 5月3日13:30から

- 行事どよみ
- 4月15日 土浦平和の会理事会(1中地区公)
 - 4月19日 県平和委常任委員会(水戸)
 - 4月20日 土浦平和の会総会(1中地区公民館)
 - 4月27日 県平和委理事会(石岡青少年会館)
 - 5月3日 憲法記念集会(土浦市民会館)
 - 5月11日
 - ~12日 北富士・東富士視察旅行
 - 5月18日 県平和委大会

基地見学平和Q旅
 北富士・県富士演習場や
 横田基地を見よう
 と き 5月11日(日)
 ・12日(月)
 費用 2万円(バス代・宿泊代)
 締切 4月30日